





だが今日、労働者と生産者の闘争は、まもなくわれわれの組織によつて結合される。この二つが労働者のお互を押しあけてきたのである。

③われわれの活動の諸問題

今日の斗争の段階は、労働者階級だけでこの大衆の自然發生的闘争がはじまったところである。そしてこの闘争が労働者と生産者を結合しうる闘争的方針の組織として根づかすはじめてのことである。

昨年の関西大会以降三十日のわれわれの活動は、多くの困難を含みつつも、大衆との結合をすすめることにはたがわれわれは、この間の活動と、基本的には大衆の自然發生的に受け入れてくれているところを確信してあつたのはなほいし。そしてそのうちあつても、体制上の問題があることをみのがしてはならない。われわれは、

① 多くに体制的抵抗とあつたところがある。  
② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

かへてこの労働者は、そのとりこみの過程でわれわれの組織上の欠陥を暴露し、大衆の自然發生的的組織に大向と手を、新たな地平を切り開くものでなければならぬ。二つの闘争的方針をまた地区労働会の機能を最大限發揮するべきである。二つの斗争のなかで新たな活動分野をひらくべきである。

② 3.7集會実行プラン

- (一) 3.7集會準備
  - 名簿 各地区労働者誌 労務手帳確保
  - 会場 市立労働館 (築地橋株の宮)
  - 日時 三月七日(木) 六時より
  - 内容 映画 講演

(三) 3.7集會宣伝方針

- ヒラ オニカニス一枚 (2月25日配布)
  - ポスター 五枚の枚
  - ステッカー 一五枚の枚
  - チラシ 一ニ〇枚
- その他各地区労働会で作成すること。

(四) 3.7集會組織目標 (千名)

労働者	400
京都	50
大阪	50
北	50
堺	40
枚原	30
津島	20
吹上	20
西	20
天童	30
豊後	20
和歌山	10
高松	50
学生	300
京都	80
兵庫	30
和歌山	20
大阪	100
高校生	100

以上七〇〇名の組織目標を軸に、拠点組織へのチラシ、入会率を促す。

(五) 集會財政

交際費	10,000.-
印刷代	30,000.-
毛筆	20,000.-
交通費	20,000.-
雑費	80,000.-

収入は会場とをもつてまひながら、赤字の危険性ははるかに少ない。

対策

- ① チケットは半数現金と引きかきとする。最後の回収もきりんとする。二つづきは個人負担とする。
- ② 宣伝費、ポスターとステッカーを有料にする。
- ③ 会場、ポスター一枚 三〇円
- ④ ステッカー一枚 一〇円

(六) 集會実行委員会

- 次のメンバーの実行委員会を構成する。
- 代表 野崎 攻郎 高見次 梅田 良本
- 書記 野崎 十津子 教員
- (七) 各地区各、細記はただちにオルグ名簿を作成し、チケッティンリかかること。

(八) 火花の発刊について

- No.23 中央委員会報告 2月日発行
- No.24 3.7集會準備報告 3/2日発行
- No.25 同盟七回大会の意義と任務

だが今日、街頭斗争と生産無産の斗争は、ほとんどわかれの組織によつて結合されている。この二つが競争斗争のおぼろげな統一をなした。OSGの。

わかれわれの活動の諸問題

今日の斗争の長は、加害者としてこの大家の自然発生的闘争がはじまったことである。そしてこの闘争が街頭斗争と組織斗争を結合しうる闘争的方針を組織として掲げようとしたことである。

昨年の関西大会以降二十月のわれわれの活動は、多くの闘争を含みつつも、大家との結合をなす道のみをたてたわかれわれは、この間の活動と、基本的には大家の自然発生的斗争を以て受けつづけており、このことを確認していかねばならぬ。そしてこの立ちかたも、作戦上の問題があることとみのがしはならぬ。われわれは、

多くに体制的結合と競争的結合がある。

かくして、ア集会は、そのとりくみの過程をわれわれの組織上の発展を期し、大家の自然発生的闘争に大向と手を、新たな地平を切り開くものとなすべし。二の闘争的方針をきた地区連合会の機能を最大限發揮するべく、二の斗争のなかで新たな活動分野をひらくべきである。

3. ア集会実行プラン

(A) 3. ア集会準備

- 名簿 各地区斗争報告 斗争準備資料
- 場所 市立図書館 (塚本機務の旨)
- 日時 三月七日(木) 六時より
- 内容 映画 講演

報告 準備報告 田原

反戦 / 全学連 / 三里政 労働戦線 / 決意表明

(B) 3. ア集会宣伝方針

- ピラ オーカス一枚 (22日25日配布)
  - ポスター 五枚
  - ステッカー 一五枚
- その他各地区委員会で作成すること。
- チケット 一二〇枚

(C) 3. ア集会組織目標 (千名)

対 策	10,000,-	10,000,-	20,000,-	20,000,-	80,000,-
入 入	会場と	もって	まひ	なら	が
対 策	赤字の	危険	性を	は	ら
対 策	ん	で	い	る	

以上七〇〇名の組織動員を軸に、地区組織へのつら入れ等を行う。

(D) 集会財政

(E) 集会実行委員会

次のメンバーで実行委員会を構成する。

cup 野崎 坂部 高見沢 梅田 坂本

各地区各、組織はをたちにオンル名を決定し、オ

ンブにとりかかると。

(F) 史花の発刊について

- No.23 中央委員会報告 28日発行
- No.24 3. ア集会準備報告 3/20日発行
- No.25 同盟七回大会の意義と任務